

第17回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録(案)

日 時 : 平成27年 12月 15日(火) 15時00分~17時10分

場 所 : 自動車会館 1階 会議室

出席者 : 栗原委員長, 福永委員(A部門長), 福井委員(B部門長), 佐藤委員(B部門代表),
宮崎委員(C部門長), 泉井委員(C部門代表), 川上委員(D部門代表), 笹岡委員(E部門代表),
芹澤委員(2号委員), 奥村委員(2号委員), 毛塚委員(2号委員), 桂幹事(敬称略), 以上12名

配付資料

- 資料17-0 第17回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料17-1 第16回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録(案)
- 資料17-2 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料17-3-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料17-3-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料17-3-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」活動報告
- 資料17-3-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料17-4 平成28年電気学会全国大会シンポジウム関連
- 資料17-5 電気システムセキュリティ特別技術委員会 概要

議事概要

1 開会挨拶

栗原委員長より, 開会にあたり挨拶があった。

2 前回議事録の確認

資料17-1に基づき, 平成27年9月28日に開催された第16回委員会の議事録(案)について確認を行い, 修正の上で承認された。

3 委員交代について

C部門代表委員について, 松井正一委員(電力中央研究所)から澤田賢治委員(電気通信大学)に交代になることが承認された。

4 特別調査専門委員会からの報告

4-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」(福永委員(瀬戸委員代理))

資料17-3-1に基づき, 活動状況について報告があった。

第7回委員会を11月27日に開催した。次回第8回委員会は3月2日に開催する予定。

報告書の形態は技術報告単行本としたい。

4-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」(餘利野委員)

資料16-7-2に基づき, 活動状況について報告があった。

第8回委員会を9月30日に開催した。

学会誌(本誌)での特集記事「安全・安心社会の電気エネルギーシステム」(平成27年11月号, 12月号)が発刊された。

- ・11月号:「電力システムを取り巻く環境と課題・展望」
- ・12月号:「安全・安心社会に向けての課題と将来への取り組み」

報告形態について、次回第9回委員会（12月22日～23日）にて審議する予定である。

4-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」（芹澤委員）

資料17-3-3に基づき、活動状況について報告があった。

第7回委員会（10月30日）での審議内容について報告された。次回、第8回委員会を2月24日に開催する予定である。

来年のC部門大会のシンポジウムセッションをもって解散とする。

（栗原委員長）それぞれのセキュリティについてどこまで公開できるのか。

（芹澤委員）資料についてどこまで出すべきかについても検討している。

（栗原委員長）インフラについての調査がメインになるのか。

（芹澤委員）産業用も含まれる。

（福井委員）ガスシステムについて遠隔で制御されているものがあるのか。

（芹澤委員）もし壊れたとしても自律的に動作されるとのことである。

4-4 「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会」（奥村委員）

活動状況について報告があった。

第7回委員会（9月9日）、第8回委員会（11月13日）の議事内容の報告があった。下記の5つの分野について調査・検討を進めている。

- ① BEMS
- ② HEMS
- ③ 静電誘導
- ④ スマートメーター
- ⑤ 接地及びSPD

A部門内の電磁環境技術委員会傘下の調査専門委員会（徳田先生が委員長）との活動について、報告書の重なりが出てくることを懸念している。

（福永委員）A部門主導の「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」は主として意図的な攻撃に対するセキュリティについて纏める予定である。

（奥村委員）電力関連はインフラであるので、需要家側について纏める予定であるが、A部門内の技術委員会と重複することを懸念している。

（栗原委員長）どちらもEMC環境を扱っているが、A部門主導の特別調査専門委員会は意図的なもの、D部門主導の特別調査専門委員会は非意図的なものを扱うということで棲み分けができるのではないかと。

（川上委員）意図的なもの、非意図的な電磁ノイズとそれぞれ扱うものが違うので、既に目的が違っているのではないかと。

（栗原委員長）棲み分けはできているので、活動内容、報告内容について適宜確認を取って頂きたい。

4-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」(毛塚委員)

資料17-3-5に基づき、活動状況について報告があった。

第4回委員会(11月20日)での審議内容について報告された。合わせて、11月20日に金沢工業大学にて研究会を行った。

全国大会シンポジウムの提案(3時間もの)が採択された。

今後、長岡での防災システムについてヒアリングを考えている。

(笹岡委員) 研究会では、C部門大会でのシンポジウム内容の報告に加え、サイバー攻撃をいかに速く検知するかということについて報告した。

(栗原委員長) 全国大会シンポジウムのセッション名に「センサシステム」が入っていないので、可能であれば修正して頂きたい。

(栗原委員長) 対象が幅広いので、焦点はどこに当てるのか。報告形態はどうするのか。

(毛塚委員) シンポジウムもしくは技術報告を考えている。

5 平成28年全国大会シンポジウム提案について

資料17-4の確認を行った。本部提案として提案したシンポジウム(平成28年3月16日午前(3時間もの))が採択された。

栗原委員長(講演20分、討論5分)に続いて各特別調査専門委員会委員長(講演23分、討論5分)の講演とする。最後に総合討論を15分設ける。

「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」から提案されたシンポジウムも採択された。開催日は3月17日午前である。

原稿の締め切りは平成28年1月14日(木)である。

6 電気システムセキュリティ特別技術委員会 概要について

資料17-5に基づいて、特別調査専門委員会の概要について確認を行った。

(芹澤委員) 各特別調査専門委員会の活動を示すマップを2パターン提案した。

(福永委員) トップダウン的に委員会が作られたので、纏めるのが難しい部分がある。

(福井委員) できるところからやってきたというのが素直なところだが、電気学会のプレゼンスを上げるためにどうするかが重要ではないか。

(泉井委員) 網羅するよりも各特別調査専門委員会がどのあたりを中心に活動しているかを示したい。

(毛塚委員) 平面図で表すのは難しいのではないか。

(栗原委員長) 全体は難しいので、各特別調査専門委員会の得意な部分のみ示すのが良いか。

(泉井委員) 簡易的に「部門」と書いているが、各部門主導の「特別調査専門委員会」を示している。

(笹岡委員) 広義と狭義の意味について伺いたい。

(栗原委員長)「セキュリティ」とは何かをまず考えたい。「社会の安心(安全等を含む)」ではないか。ご意見を反映して修正したものをご確認頂くようにしたい。
まずは横軸を「センサ・アクチュエータ, 機器・装置, システム」, 縦軸を「意図的, 非意図的」とした平面図に各特別調査専門委員会で扱う内容をマッピングしたものをお送りする。

7 その他
なし

以上

次回開催：懇親会：平成28年 3月16日(水) シンポジウム終了後
第18回 委員会：平成28年 7月11日(月) 15時～17時